

2年「」組「」号 氏名「」

手紙を読みあつて評価し合おう。

評価の観点

記入例

ア	相手の立場や気持ち大切にしている。(配慮している。)
イ	自分のお願ひ(依頼)を具体的によくわかるように書いています。
ウ	相手が依頼に応じやすいように配慮している。 (譲歩条件や必要な情報を添えている。)
エ	相手との親密度にかなった適切な言葉遣いができている。
オ	手紙の形式に則つて書いている。

グループで評価をしよう。

氏名	評価の観点(A B C)					手紙の良いところ	アドバイス
	ア	イ	ウ	エ	オ		
自己評価	A	B	A	A	A		
Bさん	A	A	A	A	A	自分の意見を書いている。	主文が短い。
Cさん	B	A	B	A	A	「菓子につけて学びたい。」が切実で良かった。	「自分にとって将来:」が相手を責めるみたいだった。
Dさん	A	A	A	A	A	「倉庫の整理、掃除などどんなことでもせいはいやらします。」のところが切実で良かった。	「さつそくですが」の前の部分が長いのでもう少し短くする。
	B	A	A	A	A	改善策が具体的で良い。	「ですが」という接続詞を減らす。「しかしながら」「そうは申しませんが」などはどうか。

学んだこと 言葉の使い方だと思ひの強さの伝わり方が違つたとわかつた。